



3年生福祉体験、頑張っています！

学校便り9号では、4年生の総合的な学習（石工の里めぐり）の様子をお伝えしましたが、今回は3年生です。6月の初めより、小城市社会福祉協議会から講師を派遣していただき、1回目は福祉の意味を学び、2回目は手話講座、3回目は目が見えない状態での生活がどのようなものか体験する活動をしました。

普段気が付いていないだけで、周囲にも耳が不自由な方はおられます。一見すると、耳が聞こえづらいとは理解されにくいこともあり、講師として来てくださった方も「バス停に立っていると、声をかけられますが、なんと聞かれたのかわからず、困ったことがあります。」と話されていました。聾学校に入学するまでは、周囲のことがわからず、とても不安な中に生活しておられた話に子供たちは聞き入っていました。また、手話で表現される身振りをヒントに会話の内容を理解しようと努力していて感心しました。相手のことを知ろうとする姿勢が何より大切だと思います。

また、ペアになってアイマスクをした友達と一緒に歩いたり、水道の蛇口をひねり鍋に水を入れたりする活動では、不安そうな友達をどうすれば上手くリードできるのか、アドバイスをもらったり、自分で考えたりしながらサポートしていました。自分の体が不自由な状況だと、どんな不安・不便があるのかを知り、いろいろな方とどう関わっていけば、みんなが暮らしやすい世の中になるのか、この体験活動が考えるきっかけになることを願います。



6月の全校朝会から、5年生の〇〇〇〇さんが校歌のピアノ伴奏を引き受けてくれています。集会などの折に全校で歌う校歌が、歌声だけでなくピアノまで児童によるものでできるなんて、とても素敵だと思います。ピアノはちょっと練習して演奏できるものではありません。小さい頃から習い、地道に練習を重ねることが必要です。努力してつけた力を砥川小のために使ってくれてとてもありがたいです。また、〇〇さんの後に続く子供がいるといいなあと思います。

いじめ、体罰アンケートへのご記入、ご提出ありがとうございました。107名全員の提出が完了いたしました。ご記入いただいた内容によっては、保護者様にお電話やお声かけさせていただきました。幸い体罰と思われる事案は1件もありませんでした。また、いじめについては、児童用アンケートの内容と共に担任が聞き取り、事案の確認、対象児童への指導を行っています。その後、校内いじめ防止対策委員会を開き情報共有を行い、いじめとして認知し報告をあげたのは14件でした。今後も全職員で見守ることを話合っています。アンケートには学校や担任への温かいお言葉もあり大変嬉しく、励みになりました。ありがとうございました。